



全国学校給食週間 おいしい給食

文部科学省では、毎年、1月24日から30日までを全国学校給食週間とし、学校給食の意義、役割などについて児童生徒や教職員、保護者、地域住民などの理解と関心を高め、学校給食の一層の充実発展を図ることとしています。

浦添市では、教職員や児童生徒との触れ合いのため、また学校給食の状況を知るために、学校給食の会食を毎年開催しています。



児童の声 当山小学校



4年2組 内田岳樹さん

給食が大好き!好きなメニューは野菜を使った料理です。今日のフーイリチーも好きです。好き嫌いなく全部食べます。給食は、もっといろんなメニューがあるといいな。

学校では、給食と休み時間が一番好きです。今日の給食もおいしかった!好きなメニューはカレーです。いつも残さず全部食べています。



4年2組 平良瑠奈さん



市長たちとの会食

本市では、1月26日に儀間市長、仲西教育委員長、西原教育長ら20人が当山小学校と前田小学校で、児童との会食を行いました。

当山小学校6年5組の児童は、市長との会食を楽しみました。市長と机を囲んだ児童たちは、緊張した様子で市長へ自己紹介や質問をしていましたが、時間が進むにつれ、自然と会話が弾み、食べ物に関することや、興味を持っていたことなどについて話していました。

給食を琉球漆器で

この日のメニューは、牛乳、フーイリチー、ターナムからあげ、黒米ご飯、なかみのすいも。通常の食器に代わり、当山小学校6年5組では琉球漆器が用いられました。

給食の時間が進むと、完食する児童やお代わりをする児童の姿も見られました。

児童へ給食について聞くと、「給食が大好き」という声が多く挙がりました。

市民の声を市政に反映

自治会からの意見・要望等

【屋富祖自治会】
①公民館(学習等供用施設)の建て替えについて
②県道38号線(屋富祖大通り)の整備計画について
【宮城自治会】
③公民館にAED(自動体外式

平成23年1月27日
・場所 宮城公民館
・参加人数 36人
・市長講話
「浦添市の将来像について」

屋富祖自治会・宮城自治会
仲西自治会
合同行政懇談会

終業式が一つずつ減り、中学校においてはテストが二つ減るため、授業時数を確保した上でしっかりと授業を行って評価し、その充実を図るといふ部分が大きなメリットになっています。

評価については、テストだけでなく、一週間ごとの評価を積み上げていくなどして、日頃の学習成果を反映させることも行っています。

秋休みについては、生徒たちが生活リズムを崩さないように改善する方向で検討したいと考えています。

(指導部 学校教育課)

意見・要望等

除細動器)を設置することについて

④消火困難地域の把握と緊急時の対応について
【仲西自治会】
⑤交通信号機の設置について
⑥小湾川の浚渫(しゅんせつ)および同川道路沿いの旧型フェンスの取替えについて

屋富祖公民館は、昭和50年5月に防衛庁の補助金によって建設された学習等供用施設です。市の財産であるこの公民館は、築35年を経過して、早急に改築をする必要があります。特に1階ホールは、雨漏りや空調設備の老朽化で管理経費も自治会運営の負担増となっている現状です。

老朽化した学習等供用施設の建て替えに関する市の対応について、整備計画書を作成して各自治会に提示することを要望します。



ある当該自治会において行っています。本市では、現在のところ、老朽化した学習等供用施設の建て替え等に関する整備の計画はありません。

建て替えについて屋富祖自治会の意向の下、当該施設へ補助を行った沖縄防衛局に問い合わせたところ、新設の補助については1回のみであり、耐用年数(60年)を考慮した場合、取り壊して建て替えるには減価償却後の残額の補助金返還も必要になってくることの説明がありました。

しかし、防衛局の補助によって建設された学習等供用施設については、老朽化した施設を復旧するための改修工事に対する補助制度があり、クリアしなければならぬ諸条件はあるものの、その補助が受けられる可能性もあるとのことでした。

今後、老朽化した学習等供用施設改修については、地域と連携しつつ、沖縄防衛局と補助

意見・要望等

について協議を行っていきたいと考えています。

(市民部 市民生活課)

AEDは、突然心停止状態になった場合に電気ショックを与え、心臓の始動を取り戻す装置で、不特定多数の人が出入りする施設に設置されています。最近では公共施設における設置は当然の感がありますが、我が宮城公民館には現在設置されていません。必要性を感じますが、高額のためすぐには購入できません。

当自治会の年間行事を始め、清掃作業、諸サークル活動、諸会合等に日頃から老若男女多くの方々が公民館を利用しています。いつも気がかりなのは「万が一何かあったら…」との思いがあります。特に高齢者が集うときは強く感じます。本市の各自治公民館においても利用状況、活動状況に差はありますが、事情、思いは同じだと思います。

本市の自治公民館にAEDの設置を要望します。

地域住民のコミュニティ推進を図り、住民が自主的かつ自発的に活動する場となっている自

回答

自治会事務所にAED設置することは、地域の安心・安全を確保し、その活動を後押しすることからも大変重要なものであると認識しています。「万が一何かあったら…」という思いは同じです。

しかしながら、自治会にAEDを設置するためには、多額の経費が掛かり、現在の本市が置かれた財政状況を考えた場合、すぐに設置することは難しいです。しかし、身近にAEDが設置されることは、市民の安心・安全にもつながることから、今後とも、その実現に向けて努力していきたいと考えています。

(市民部 市民生活課)

